NEWS RELEASE

2025 年 6 月 9 日
株式会社みずほフィナンシャルグループ

第 3 回 国連海洋会議における“Business call to action”への署名について

株式会社みずほフィナンシャルグループ（執行役社長：木原 正裕）は、第 3 回 国連海洋会議において、持続可能な海洋環境保全を目的としたコミットメント“Business call to action”に、日本の金融機関として初めて署名しました。

“Business call to action”は、世界経済フォーラム（WEF）、国連グローバルコンパクト（UNGC）等が主導し、海洋の持続可能な利用を推進することによりグローバル経済の繁栄を支えるためのビジネスアクションを呼びかけることを目的とした宣言であり、6 月 8 日（世界海洋デー）に公表されました。

地球の表面積の 4 分の 3 を占める海洋は、地球の水の 97%を蓄え、体積で地球上の生物生息空間の 99%を占めており地球の生態系にとって不可欠な役割を果たしているほか、食料などの重要な天然資源を供給する等、経済活動でも重要な役割を担っています。一方で、海洋は魚類資源の減少、海水温の上昇、酸性化の進行、広範囲に及ぶ汚染といった重大な課題にも直面しています。

また、気候変動や資源循環（サーキュラーエコノミー）、自然資本・生物多様性といった主要な環境課題の同時達成には、個別の取り組みに加えて、相互連関性（シナジー・トレードオフ）を考慮した総合的な取り組みが重要となります。海洋をはじめとするブルーエコノミーは、まさにこれらの環境課題が交差する領域であり、〈みずほ〉はブルーエコノミーへの取り組みを通じて、相互に連関する環境課題を乗り越え、持続可能な社会への移行を積極的に推進します。

〈みずほ〉は「ともに挑む。ともに実る。」のパーパスのもと、“Business call to action”への署名を通じ、海洋の健全性を担う一員として、様々なステークホルダーと共創しながらサステナビリティの実現に挑戦していきます。

【ご参考：国連海洋会議（United Nations Ocean Conference）】
2017 年に海洋の持続可能性を促進する取り組みを活性化することを目的に発足。
第 3 回 国連海洋会議（United Nations Ocean Conference 3）は、「海洋の保全と持続可能な利用に向けた行動の加速とあらゆる主体の動員」をテーマに、2025 年 6 月 9 日～6 月 13 日の日程でフランスのニースで開催されている。

以　上